

平成30年度 放課後等デイサービス
保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月28日

事業所名:多機能型事業所 きらら館

保護者等数(児童数):16名

回収数:13名

割合:81.2%

1頁

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	0		・環境構成への配慮を引き続き行っていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	1	0	3		・職員配置や専門性を伝えていくよう配慮していく。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1	0	1		・スロープ設置や段差のない設備設定としており、安心安全に過ごす事ができるように配慮を行っている。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	11	2	0	0		・アセスメントを実施し、ニーズや課題の分析、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11	1	0	1	・学習面でも気にかけてもらってありがたい。	・より個々の発達に応じた支援となるよう配慮していく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	1	0	6	・こども食堂で交流がある。	・こども食堂の活動を通して、交流を行っていく。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	0	0		・丁寧な説明を心掛けている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	0	0	0	・子どもの成長についてたくさん相談ができ、助かっている。	・引き続き、日々の活動の様子を丁寧に伝え、共通理解を図っていく。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	0		・面談や日々のやり取りを通じて、必要な情報を伝え、助言の支援を行っていく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	2	0	7		・長期休み等にマザーズサロンを実施するなど、保護者同士のかかわりや連携の機会を増やしていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	4		・苦情等へ迅速、丁寧に対応できるよう心掛けていく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2	0	0		・丁寧な対応を心掛けていく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	0	0		・ホームページの更新頻度を増やしていく。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	12	0	0	1		・引き続き、個人情報の取り扱いについて、十分な配慮を行っていく。
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	2	2	3		・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っていく。 ・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	6		・定期的に避難訓練を実施し、訓練の様子を保護者へ伝えていく。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	0	0	・きらら館から帰ってくる時、いつも笑顔でいつも楽しそう。 ・きらら館でのいろんな活動を毎回楽しみにしている。 ・利用者が少なくさみしさがあった。	・引き続き、充実した支援となるよう心掛けていく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	・いつも明るく笑顔で接して下さって感謝しかない。すばらしい先生ばかりで本当にありがたく思っている。 ・細かな変化に気付いて頂いたり、学校のことや兄弟のことなども相談できて心強い。 ・お泊り会や夏休み中いろいろな体験は、親元を離れて子ども自身とても自信になった。	・引き続き、充実した支援となるよう心掛けていく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数や帰りの時間等で訓練室を分ける等配慮している。 ・利用人数に対して、訓練室等のスペースを十分に確保し、支援を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・適切に行われている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・安心安全に過ごす事ができるよう配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・支援内容に対して、反省や目標を挙げ、振り返りや見直しを行い、職員間でも共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等に対して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者向け事業所評価を実施し、意見を元に改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページで自己評価の結果を公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に研修を行うことで、資質向上に繋げている。 ・時期や子ども達の状況に応じて、必要な研修を行っている。 ・非常勤職員参加の事業所内研修の機会をより増やしていき、支援の質の向上に繋げていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの課題と保護者のニーズを踏まえた上で、放課後等デイサービス計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通したアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・立案した支援内容をチームで意見交換や共通理解しながら支援にあたっている。 ・立案が直前になってしまうことがある、早めの計画を心掛けてい
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			・外出活動や社会体験等、年間計画に照らし合わせながら、子ども達の現状に応じて活動内容の工夫を行っている。 ・活動内容によっては固定化しているものもあるため、見直しや改善が必要である。 ・年齢に幅が出てきているため、個々にそった支援の充実へ取り組んでいく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・個々の課題を踏まえた上で机上課題や運動、外出活動等を取り入れている。 ・長期休暇には、体験活動を多く取り入れ、充実した支援となるよう努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせた計画となるよう配慮している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援環境や活動内容等を放課後等デイサービス担当職員で共有している。 ・充実した支援内容となるよう、打ち合わせの時間を十分に取れるよう取り組んでいく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・活動終了後、支援内容や、子どもの行動についてなど、職員間で気づいた点を共有している。 ・十分に話し合う時間を確保できないこともあるため、活動毎に行えるよう心掛けていく。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日々の記録を取る事を徹底し、気付きや改善点についてミーティングを行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・個々の課題に応じて、複数組み合わせ支援を行っている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・子どもの状況に応じて、児童発達支援管理責任者や当該児童の担当職員を参画させ、事業所での状況等を説明している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎時等を利用し、学校職員と必要な情報交換を行っているが、細かな状況まで伝え合えないことや、下校時間に変更があった際、確認が遅れることがあったため、密な情報交換が必要である。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・現在対象児童はいないが、受入れを行う際は、主治医等との連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・情報共有、相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・現在対象児童はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修会へ参加を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			・こども食堂を通し、毎月1回地域の子どもたちとかかわる機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・可能な限り参加し、参加が難しい場合は文書でのやり取りを行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・日々の支援の様子や学習状況について、保護者に伝え、共通理解を図っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・保護者に対し、必要に応じて、特性の理解やかかわり方の学びに繋がるよう、家族支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・丁寧な説明を心掛けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施するなどし、その都度助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者同士のかかわりや情報交換をできる場の提供、機会を増やしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情があった際には、迅速に対応し、見直しや周知を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月、トピックスや活動予定表に、活動の様子を写真で発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・意思疎通や情報伝達のため、配慮をしながら支援を行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域住民の方を行事に招待し、共有の機会を設けている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染者対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるよう対応を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的に避難訓練を実施している。 ・場面を想定した訓練の回数を増やしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・職員研修を行い、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・身体拘束については行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者へ、医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、対応についての検討や共有を行っている。